# マックスねじ締め機

# FH-461

## 取扱説明書

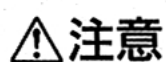
### ⚠ 警 告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用する。
- 使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
- 使用しない時、また調整・修理・れんねじの装塡の時は必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜く。
- ねじ出口を絶対に人体に向けない。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

このたびはマックスねじ締め機FH-461をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

■表示について

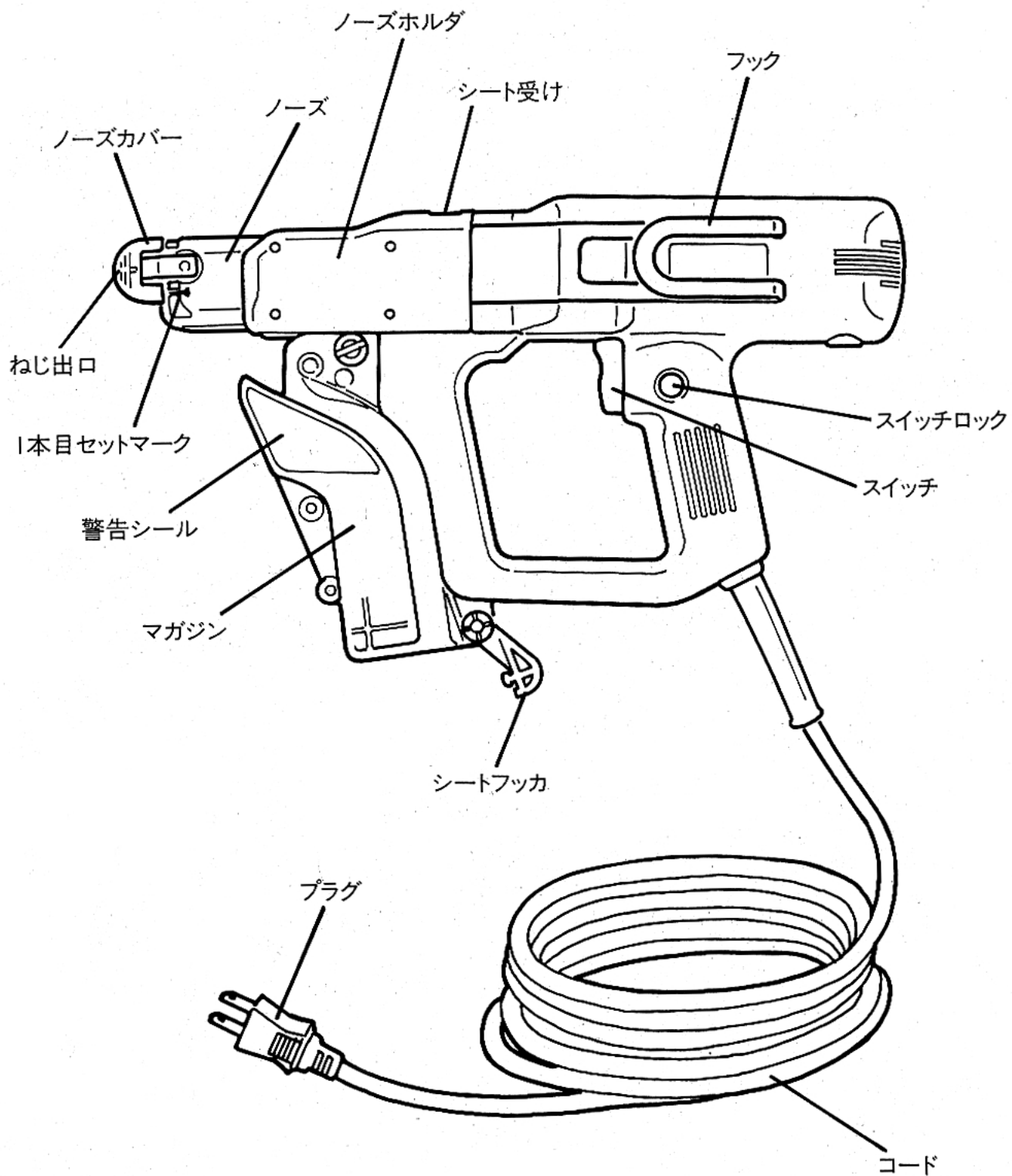
| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。 |
| ⚠注意 | この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。また、取扱いを誤った場合には、ねじ締め機本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。 |

■絵表示について

この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

この記号は「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な指示内容です。

## 目　次

# 1 各部の名称

ノーズホルダ
フック
シート受け
ノーズ
ノーズカバー
ねじ出口
1本目セットマーク
スイッチロック
スイッチ
警告シール
マガジン
シートフッカ
プラグ
コード

## 2 安全作業のために

本機は、指定されたねじを「石膏ボードと木材」にねじ込むことを目的とした電動工具です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

### ⚠ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
   - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
   - 作業場は十分に明るくしてください。
   - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
   - 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
     (例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
   - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
   - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
   - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
   - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
   - 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
   - 指定された用途以外に使用しないでください。

## 安全作業のために

### ⚠ 警告

8. きちんとした服装で作業してください。
   - だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
   - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
   - 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
   - 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. コードを乱暴に扱わないでください。
    - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントからぬかないでください。
    - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
11. 加工する物をしっかりと固定してください。
    - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
12. 無理な姿勢で作業をしないでください。
    - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
13. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
    - 安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
    - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
    - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店又はマックスサービス㈱に修理を依頼してください。
    - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
    - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスがつかないようにしてください。

## ⚠警告

14. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
    - 使用しない、または修理する場合。
    - 刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
    - その他危険が予想される場合。
15. 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
    - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
16. 不意な始動は避けてください。
    - 電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
    - プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
    - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
18. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
    - 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
    - 常識を働かせてください。
    - 疲れている場合は、使用しないでください。
19. 損傷した部分がないか点検してください。
    - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
    - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
    - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。

      取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店又はマックスサービス㈱で修理を行なってください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店又はマックスサービス㈱で修理を行なってください。
    - スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

## ⚠ 警告

20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- 本取扱説明書およびマックスカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

21. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買上げの販売店またはマックスサービス㈱にお申し付けください。
  修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

### 騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

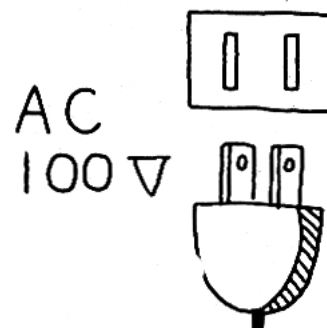
## 2 安全作業のために

### 作業前

### ⚠ 警告

❶使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用する。

表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

❶

❷使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。

ねじ締め作業をすると、ねじと石膏により粉塵が舞い上がったり、締め損じたねじがはね返り、眼に入ると失明する恐れがあります。作業する本人はもとよりまわりの人も必ず保護メガネを着用してください。

※保護メガネは別売品で販売しております。お買い求めの販売店又はマックスサービス(株)へお申し付けください。

❷

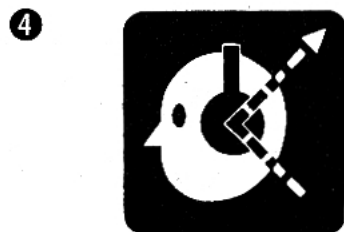
❸防塵マスクを着用する。

ねじ締め作業をすると、ねじと石膏により粉塵が舞い上がります。その汚れた空気から鼻・咽喉・気管・肺を守るため防塵マスクを着用してください。

❸

❹防音保護具を着用する。

ねじ締め作業をする時、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

❹

❺作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

❺

## ⚠ 警 告

❻指定のねじを使用する。

指定されたねじと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のねじ(れんねじ) をご使用ください。(13ページ参照)

❻

❼作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまずくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

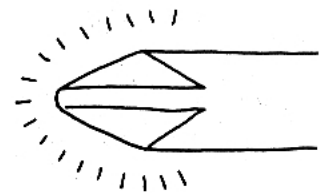
❼

❽使用前に必ず点検する。

使用前に次の点検を必ず行ってください。

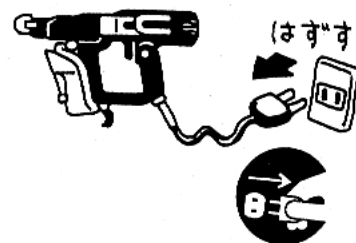
1. 機械本体のねじの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり、傷んでいないか。
3. ビット先端が割れたり、減っていないか。
4. ノーズはスムーズに動くか。

❽-1

❽-3

❾長時間使用しますと各部品が消耗してきます。また、不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱へ点検・修理に出してください。ビット・部品を交換する場合は必ずプラグを電源から抜いて、指定された純正部品をお使いください。

❾

## 作業中

### ⚠警告

**❶機械を人体に絶対に向けない。**

機械を人に当て、誤って作動させた場合は思いがけない事故につながります。また、先端部(ねじ出口)付近に手足などを近づけての作業は危険ですから絶対にしないでください。

❶
**❷ねじ出口（ノーズカバー）を確実に対象物に当てる。**

ねじ出口を確実に対象物に当てないと、ノーズカバーが滑って思わぬ方向へねじが押し出されたりして大変危険です。またねじが確実に締め込まれずに保持力低下やねじ頭のキズ、ビットの摩耗の原因となりますのでご注意ください。

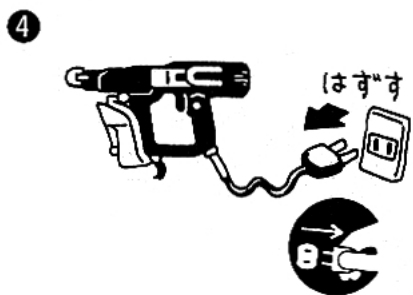
❷
**❸機械摺動部および回転部には絶対に手を近づけない。**

先端ノーズ摺動部および回転部に手を触れますと、はさまれたり巻き込まれたりして怪我をすることがありますので絶対に手を近づけないでください。

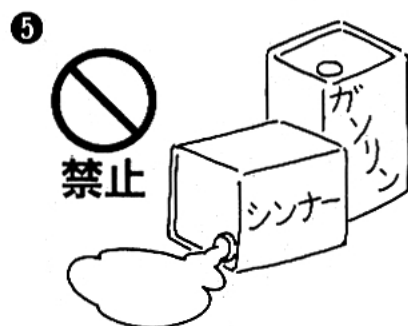
❸
**❹れんねじの交換・ビットの交換・使用しない時は、必ずスイッチを切り、電源コンセントからプラグをはずす。**

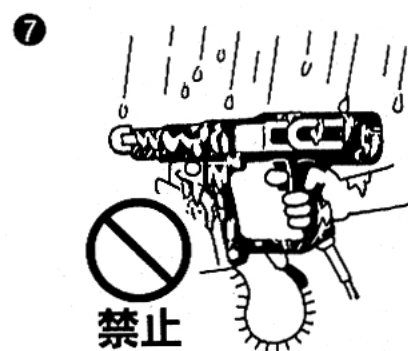
事故の原因となります。

❹

## ⚠ 警告

**❺揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。**

ガソリン、シンナー、ガス、塗料、接着剤などのそばでの使用は引火または爆発の恐れがあるので絶対にしないでください。

❺
**❻火気には近づけない。**

❻
**❼雨の中、水のかかる場所では絶対に使用しない。**

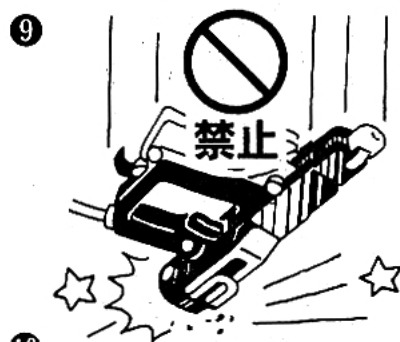
雨の中、水のかかる場所、濡れた場所、湿った場所では絶対に使用しないでください。感電事故のもととなります。また、本機を雨の中に放置しないでください。

❼
**❽異常を感じたら絶対に使用しない。**

機械の調子が悪い時、異常に気づいた時は直ちにスイッチを切って使用をやめ、点検、修理に出してください。

❽

## ⚠ 警　告

❾大切に扱う。

落としたりぶつけたりすると故障の原因となります。

❿しっかりした足場を確保する。

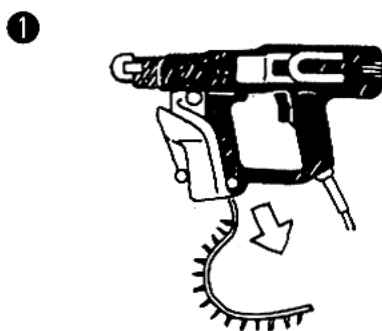
無理な姿勢での作業は事故のもとです。

❿
禁止

### 作業後

## ⚠ 警　告

❶れんねじを外す。

作業終了後、本機よりれんねじを必ず外してください。

❷作業後は必ず本機の清掃をする。

石膏粉やゴミが付着するとノーズの戻不良、ねじ送り不良等機械の性能を損なう原因となります。エアダスタなどで石膏粉、ゴミなどを除去してください。また、ノーズ部に注油しないでください。注油すると、石膏粉やゴミが固着しやすくなります。

※エアダスタはお近くのマックス製品取扱店でお買い求めください。

## ⚠ 警告

**❸本機を保管する。**

気温が50℃以上にならず、乾燥した風通しの良い場所に保管してください。
また保管場所は子供の手の届かない高い所や鍵のかかった所にしてください。

**❹本機を大切に手入れする。**

より安全に性能を発揮させるため、工具は摩耗、損傷のない最良の状態に保ってください。グリップ部は乾燥させ、清潔にし、油やグリスが付かないようにしてください。

❹
**❺本機は乾いたやわらかい布でふく。**

濡れた布や、シンナー、ベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。

❺
**❻本機を分解しない。**

万一故障した時は、点検、修理に出してください。

❻
**❼本機を絶対に改造しない。**

本機を改造すると本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

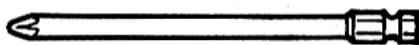
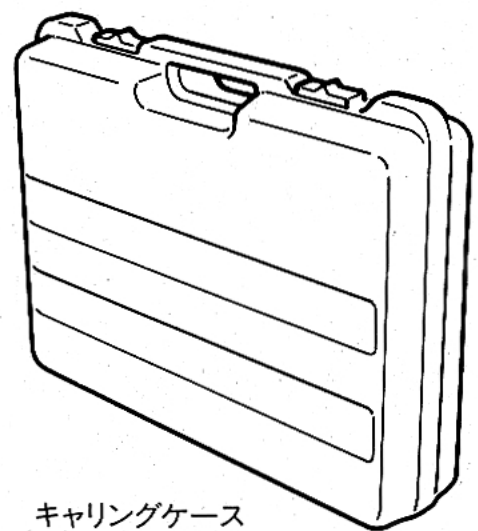
❼

# 仕様及び付属品

| 商品名 | マックスねじ締め機 れんねじき |
|---|---|
| 商品記号 | FH-461 |
| 寸法 | (H) 218 × (W) 86 × (L) 383mm |
| 質量 | 1.9kg |
| 電源 | AC100V 50/60Hz |
| 定格電流 | 3.7A |
| 消費電力 | 350W |
| 無負荷回転速度 | 4,000（回転/分） |
| 電源コード | 2芯 5m |
| 絶縁方法 | 二重絶縁 |

**〈付属品〉**

ノーズカバーS

ノーズカバーL

ビットB317H2

キャリングケース

# 使用ねじ

**〈使用ねじ〉**

| 名　称 | 長さ | 1連の本数 | 材　質 | 表面処理 | 主な用途 |
|---|---|---|---|---|---|
| D3825ユニクロ(80) | 25mm | 80本 | 鉄 | 亜鉛メッキ<br>ユニクロ処理 | 木下地+<br>石膏ボード止め |
| D3828ユニクロ(80) | 28mm | 80本 | | | |
| D3828ユニクロ2×4(80) | 28mm | 80本 | | | |
| D3832ユニクロ(80) | 32mm | 80本 | | | |
| D3841ユニクロ(80) | 41mm | 80本 | | | |
| D3825ダクロ(80) | 25mm | 80本 | | 亜鉛メッキ<br>ダクロダイズド<br>コーティング | |
| D3828ダクロ(80) | 28mm | 80本 | | | |
| D3828ダクロ2×4(80) | 28mm | 80本 | | | |
| D3832ダクロ(80) | 32mm | 80本 | | | |
| D3841ダクロ(80) | 41mm | 80本 | | | |
| D3825-S(80) | 25mm | 80本 | SUS410<br>ステンレス | ジンロイメッキ | |
| D3828-S(80) | 28mm | 80本 | | | |
| D3828-S 2×4(80) | 28mm | 80本 | | | |
| D3832-S(80) | 32mm | 80本 | | | |
| D3841-S(80) | 41mm | 80本 | | | |
| D3825ゴウキン | 25mm | 80本 | 鉄 | 鉄-亜鉛<br>合金メッキ | |
| D3828ゴウキン(80) | 28mm | 80本 | | | |
| D3828ゴウキン2×4(80) | 28mm | 80本 | | | |
| D3832ゴウキン | 32mm | 80本 | | | |
| D3841ゴウキン | 41mm | 80本 | | | |
| D3928パーカー | 28mm | 50本 | | パーカー<br>ライジング処理 | t1.4鋼製下地・木下地+<br>コンパネ・木質止め |
| D3941パーカー | 41mm | 50本 | | | |
| FL3828ダクロ | 28mm | 50本 | | 亜鉛メッキ<br>ダクロダイズド<br>コーティング | 木下地+<br>コンパネ・サイディング |
| FL3832ユニクロ | 32mm | 50本 | | 亜鉛メッキ<br>ユニクロ処理 | |
| FL3841ユニクロ | 41mm | 50本 | | | |
| FL3825-S | 25mm | 50本 | SUS40ステンレス | ジンロイメッキ | |

※ねじはマックスれんねじを使用してください。
※ねじの種類は変わる場合があります。

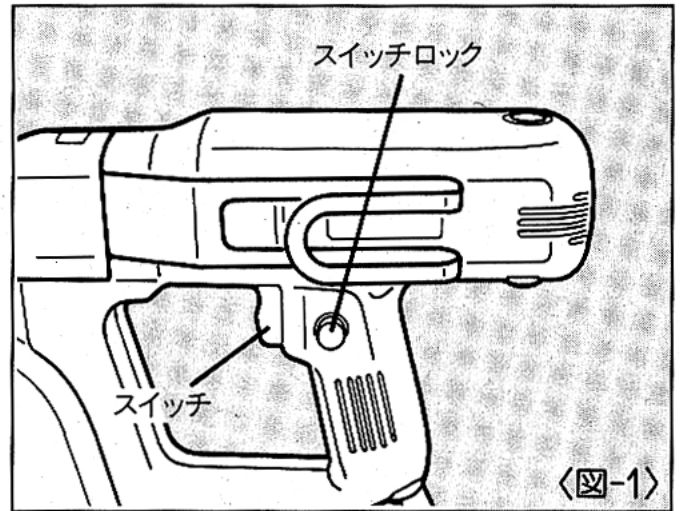
# 使用方法

## 1 スイッチ

**⚠ 警 告**

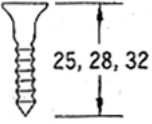
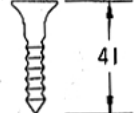
●使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用する。
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となりけがの原因になります。

スイッチはトリガタイプです。スイッチを引くとモーターが回転し、離すと止まります。連続作業の場合は、スイッチを引いた状態でスイッチロックを押すと指を離してもスイッチが入ったままロックされます。切る時は再びスイッチを引いてから離すとロックが解除されモーターは止まります。
〈図-1〉

〈図-1〉

**本体の調整の仕方**

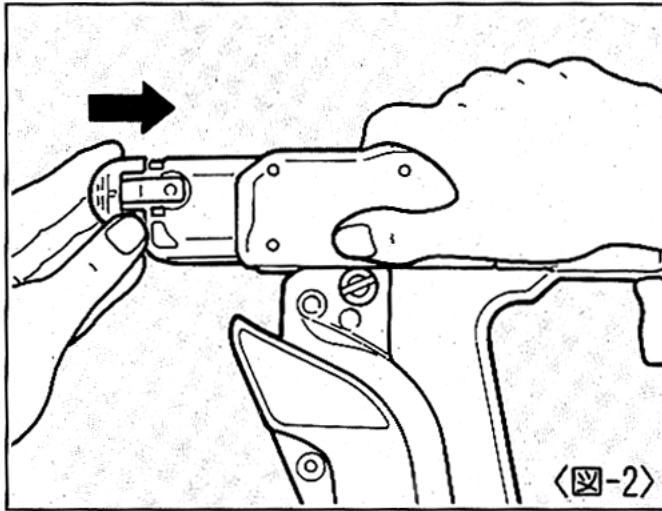
使うねじの長さに合わせて各部を調整します。

**⚠ 警 告**

●調整する時は、必ずれんねじを外し、プラグを抜く。
誤って作動させた場合、思いがけない事故につながります。

### 〔2〕使うねじの長さに合ったノーズカバーを本体に取付ける

❶しっかりした台の上に本体を押さえて固定し、指先でノーズカバーの一端に力を加えると外れます。〈図-2〉

❷取り付ける場合、ノーズカバーのスリット（大）の入っている方が、本体マガジン側を向くようにし、最後まできっちりと押し込んでください。

〈図-2〉

**使用ねじと適合ノーズカバー**

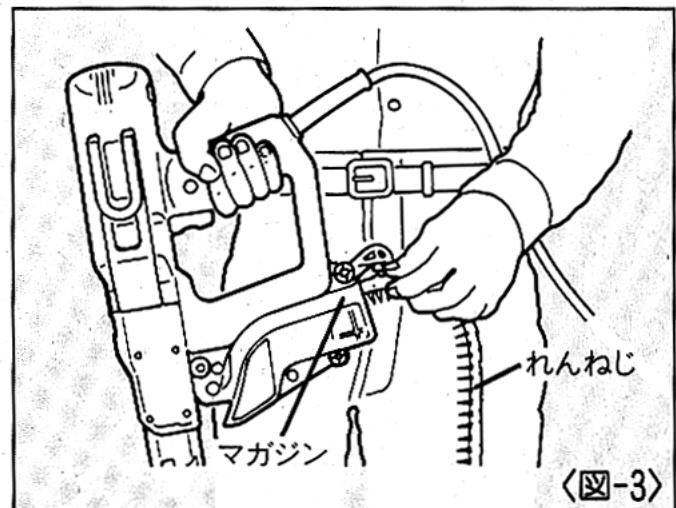
| 適合ノーズカバー | 使用ねじ長さ |
|---|---|
| ノーズカバーS<br>ノーズカバーSは工場出荷時に本体にセットされています。 | 25mm　28mm　32mm<br>25, 28, 32 |
| ノーズカバーL | 41mm<br>41 |

### 〔3〕れんねじの装填方法

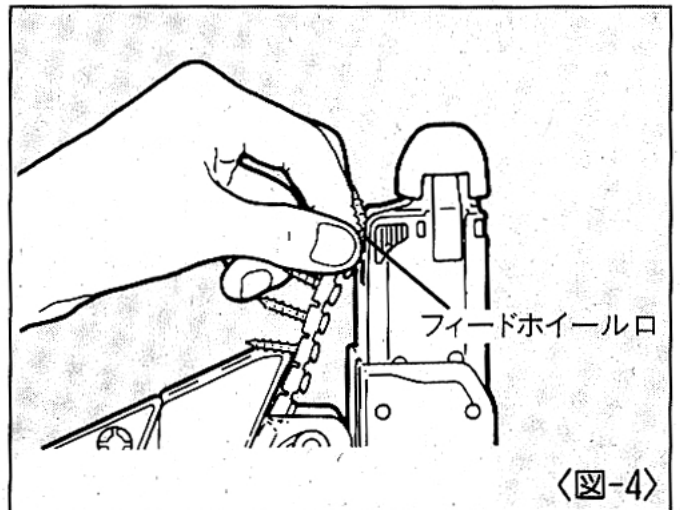
**⚠ 警告**

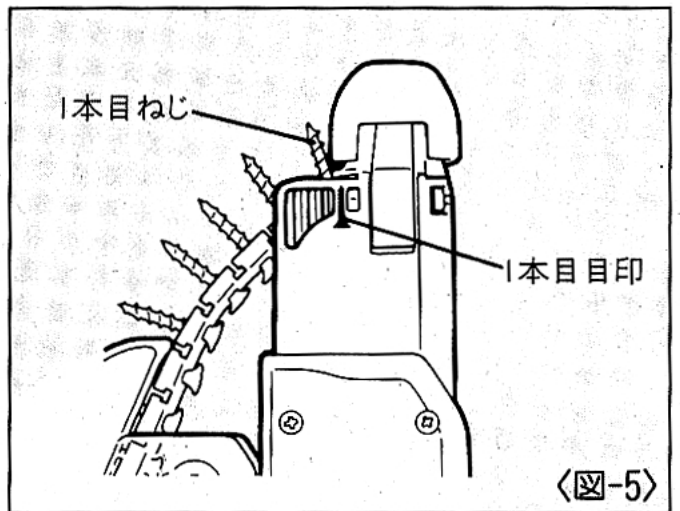
●れんねじを装填する時は、必ず本機のスイッチを切る。
誤って作動させた場合、思いがけない事故につながります。

❶れんねじをマガジンに通します。〈図-3〉

〈図-3〉

❷マガジンの先端から出てきたれんねじの端をフィードホイール口に差し込みます。

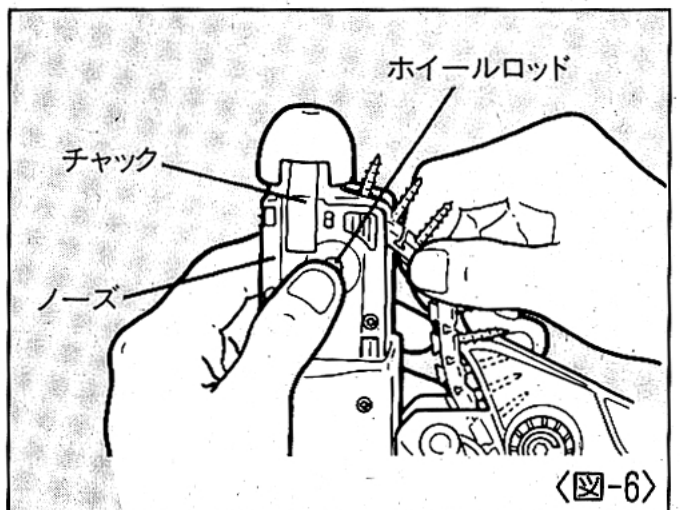
〈図-4〉

〈図-4〉

❸１本目のねじを一番奥まで送り込まず、ひとつ手前の図の目印位置にセットします。１本目目印はノーズ横に彫刻で表示してあります。 〈図-5〉

〈図-5〉

## ⚠ 注意

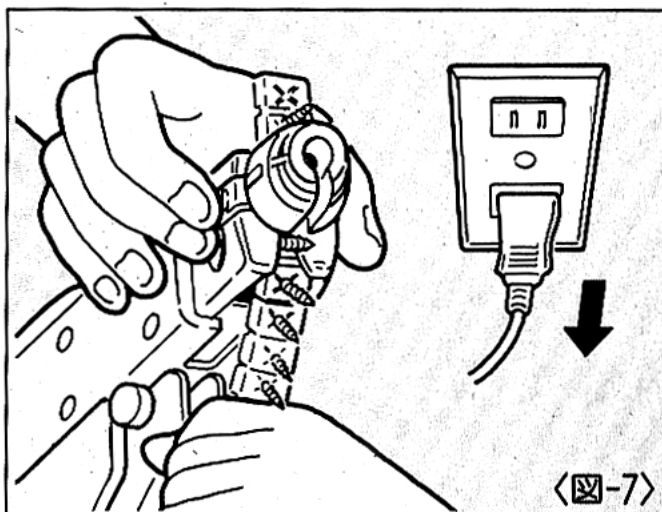
● １本目のねじを、セット位置よりも奥に差し込まないでください。
差し込みすぎて使用すると、ねじ詰まりを起します。

※奥に差し込みすぎてしまったら、図のようにホイールロッドを押しながられんねじをマガジン側に引き出し、れんねじを再セットしてください。 〈図-6〉

〈図-6〉

## ホイールロッド れんねじ逆抜ボタン

れんねじのセットの時に、奥まで差し込みすぎた場合や作業後などにねじを本体から取り外す時に使います。ホイールロッドを押しながられんねじをマガジン側に引き出します。

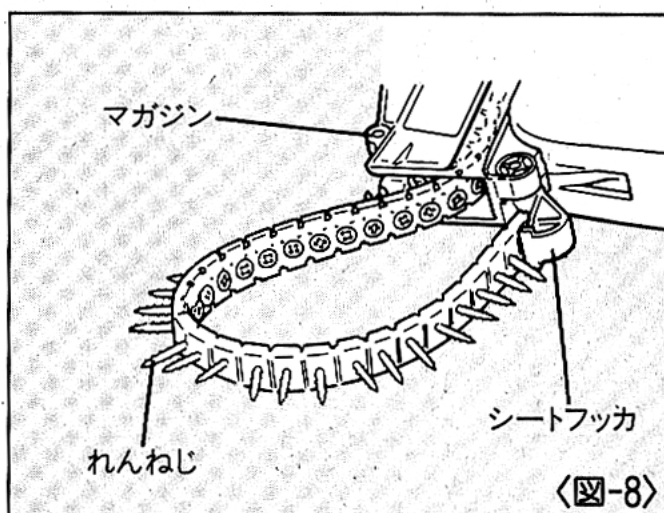
ねじをチャックに咬ませてしまった場合やねじにチャックを乗り越えさせてしまった場合などは、チャックをつまんで開かせながら、れんねじをマガジン側に引き出してください。〈図-7〉

〈図-7〉

### ⚠ 注 意

●ねじ詰まりのまま無理にストロークさせると、ノーズがノーズホルダからリターンしなくなります。このような場合は、必ずコンセントから電源プラグをはずしてから対処してください。詰まって作動させた場合、思いがけない事故につながります。

## シートフッカ

れんねじをセットしたら、連結帯の最後の空き穴の部分をシートフッカに図のように引っかけます。ねじ締め作業中シートが邪魔にならず、また取り回しも良くなります。〈図-8〉

〈図-8〉

### ⚠ 警 告

●れんねじの後端は、必ずシートフッカにセットする。
連結帯を引きずると、踏み付けて事故の原因になります。

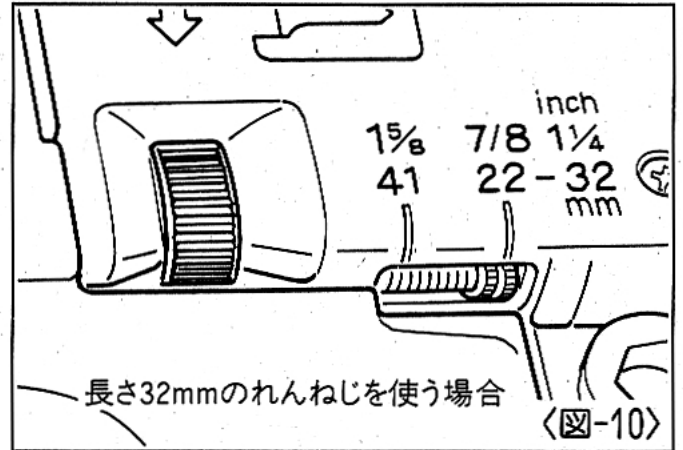
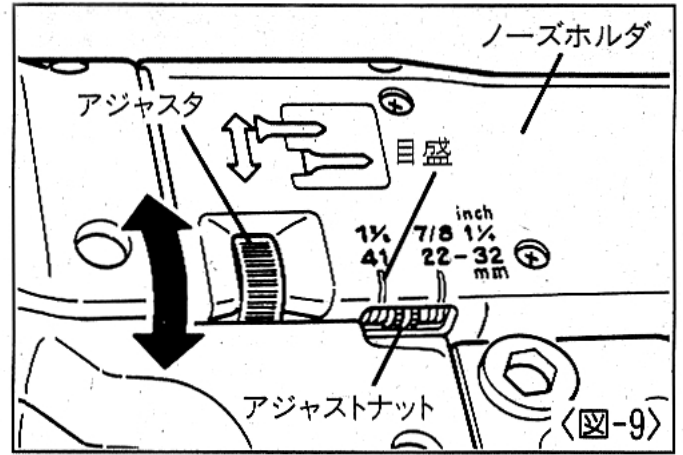
## 4 アジャスタの調整

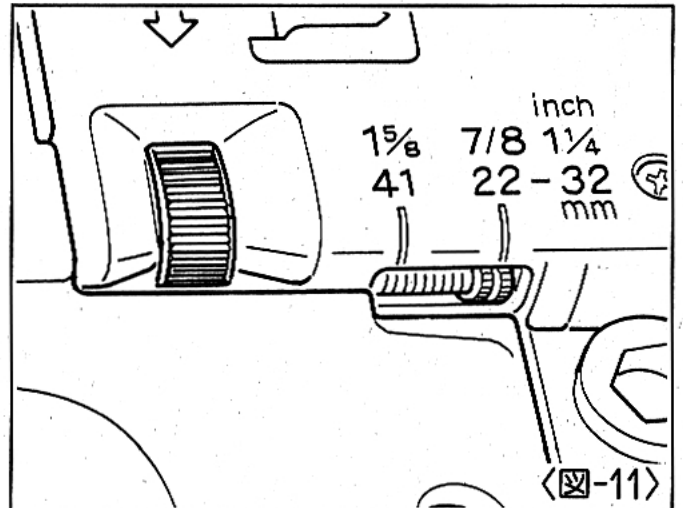
ねじ込み深さを調整します。

❶使うねじの長さに合わせて、アジャスタを回し、アジャストナットの溝をノーズホルダ側の目盛に合わせます。

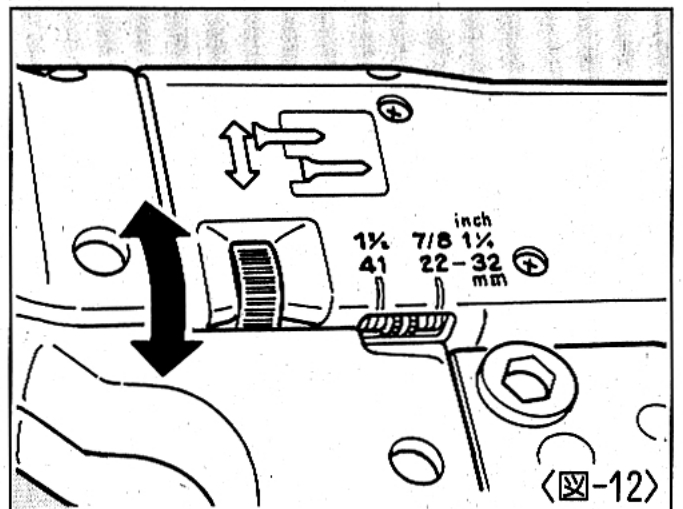
〈図-9〉〈図-10〉

〈図-9〉

〈図-10〉

※アジャスタは、工場出荷時、25～32㎜の位置に調整してあります。 〈図-11〉

〈図-11〉

このセッティングで、ねじ頭がボードから0.5㎜～1㎜沈むよう設定されます。

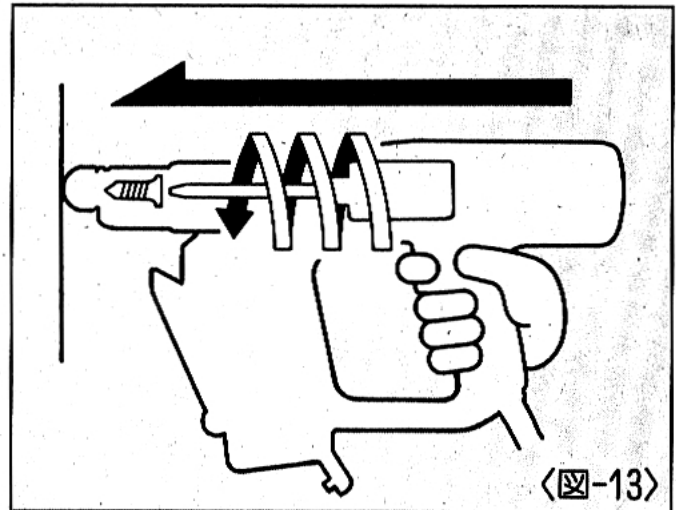
❷ねじ込み深さを微調整する時は、アジャスタを回転させ調節します。 〈図-12〉

〈図-12〉

5 ねじ込みの仕方

❶ドライバのスイッチをONにして、モータ回転状態にします。

❷ノーズを確実に石膏ボードに当て、本体を押し付けます。　〈図-13〉

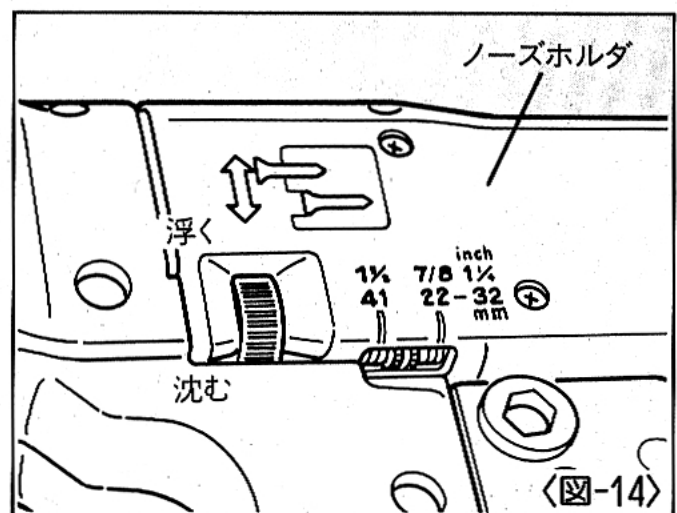
※スイッチを引いた状態でスイッチロックを押すと、指を離してもスイッチが入ったままロックされます。切る時は再びスイッチを引いてから離すと、ロックが解除され、モータは止まります。
（P.14参照）

〈図-13〉

## ⚠ 注 意

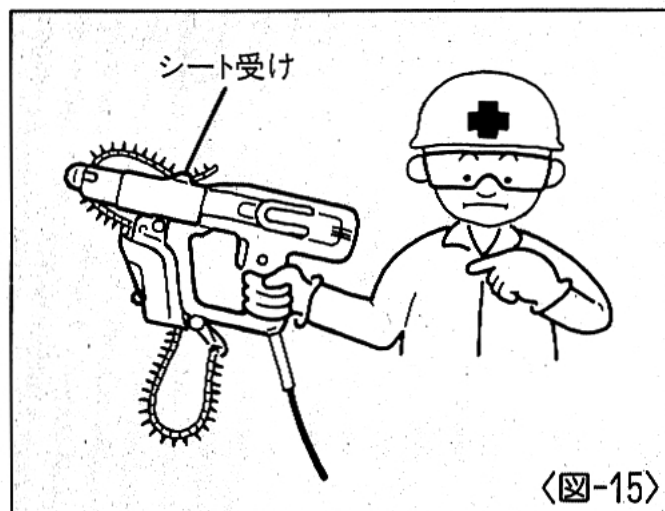
●本体を押し付けてビットでねじを押した後、スイッチを入れて回転させないでください。
ねじが転んで上手くねじ締めできないばかりか、ねじ詰まりや故障の原因となります。先にスイッチを入れて、モータを回転状態にしてから押し付けてください。

●ねじは石膏ボードに垂直に締めてください。
斜めに締めると、確実な保持力が損なわれ、天井や壁の耐久力を低下させる原因となります。また、ねじの十字穴を傷付け、耐食性能を低下させる原因となります。

❸ねじ込み深さを微調整します。
ねじ頭の浮き沈みを確認しながら、アジャスタを回転させて、ねじ頭が石膏ボード表面から0.5㎜～1㎜の深さに沈み込むように調整します。
回転方向はノーズホルダの横にあるイラストを参考にしてください。　〈図-14〉

〈図-14〉

❹排出された連結シートをシート受けに通します。

ねじを取り出した後の連結シートが、ノーズの上側から出てきて長くなってきたら、ボディにあるシート受けに差し込んで通してください。邪魔にならず取り回しも良くなります。〈図-15〉

〈図-15〉

# 6 ビットの交換方法

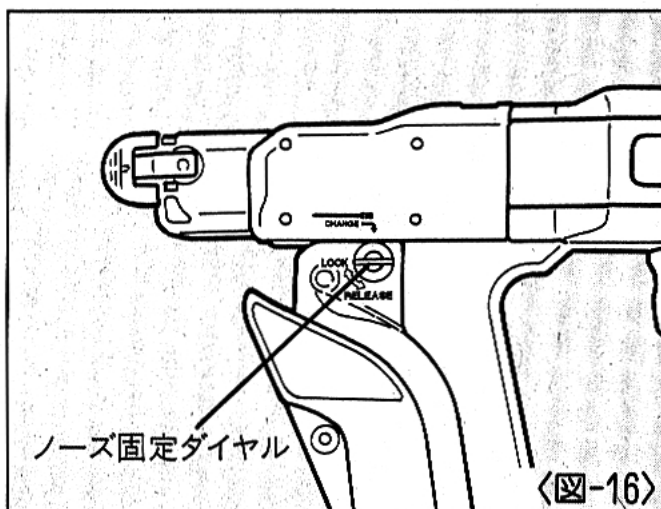
## ⚠ 警 告

●ビット交換の際は、必ず電源コンセントからプラグを抜く。
●ビット交換の際は、必ずれんねじを取りはずす。

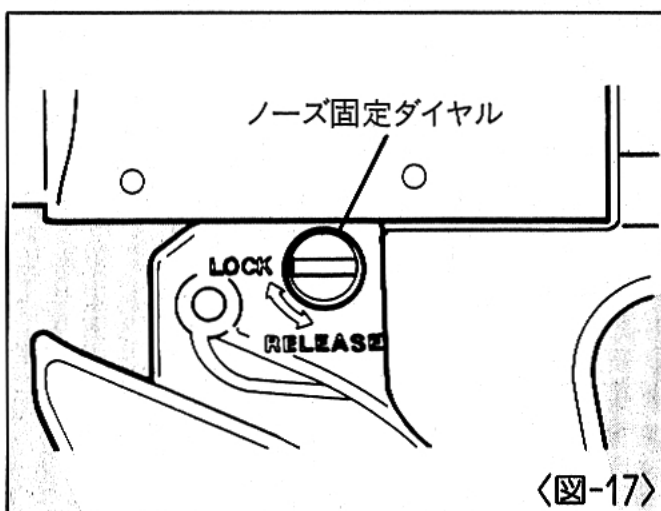
## ⚠ 注 意

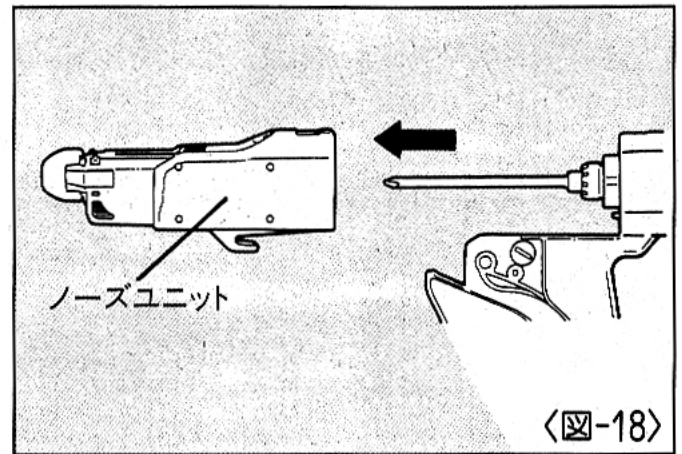
●ビットは消耗品です。摩耗したビットを使うと、作業の能率を損ない、ねじ締め不良の原因となります。作業の初めにビットを点検し、早めに交換してください。
●ビットは別売のマックスれんねじき用ビットB317H2を、お近くのマックス製品取扱い店でお買い求めください。

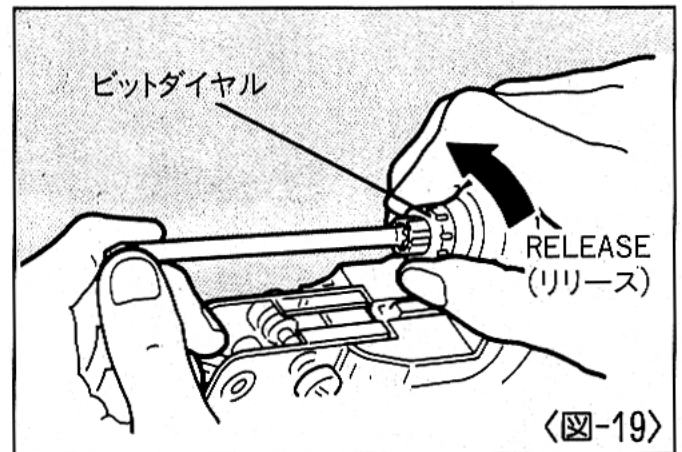
❶本体ノーズホルダの ━━━━▪▮ マークの「▼」の先にあるノーズ固定ダイヤルを指で回して緩めます。(左に回す)
〈図-16〉

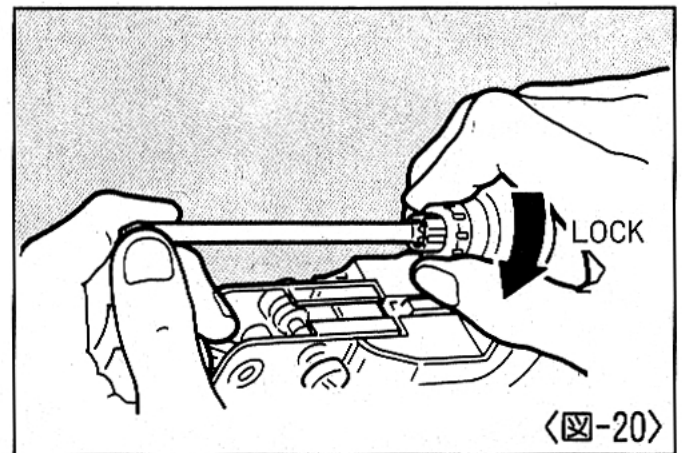
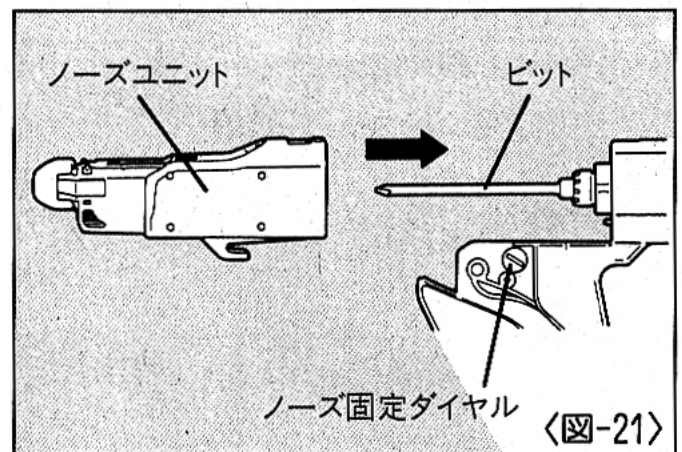
〈図-16〉

## ⚠ 注 意

●ねじは緩めるだけで、外さないでください。裏側のナットを落下させ、紛失しないように注意してください。堅くて指で回らない場合は、コインか⊖ドライバをダイヤルの溝に入れて回してください。 〈図-17〉

〈図-17〉

❷ノーズとノーズホルダをユニットごと←の方向（先端方向）に外してください。〈図-18〉

〈図-18〉

❸片手でビットを回転しないように押さえ、反対の手でビットダイヤルをRELEASE（リリース）←の方向に回転させます。ビットは簡単に外れます。〈図-19〉

〈図-19〉

❹新しいビットをメインシャフトに取り付けます。
外す時と同様に、片手でビットが回転しないように押さえ、反対の手でビットダイヤルを→LOCK（ロック）の方向に回転させて固定します。〈図-20〉

〈図-20〉

❺ノーズとノーズホルダのユニットをビットにかぶせるように取り付けます。マガジンに引っかける部分に注意して取り付けてください。〈図-21〉

❻ノーズ固定ダイヤルを指で締めます。
ノーズホルダ後端とボディの間に隙間がないように注意してください。

〈図-21〉

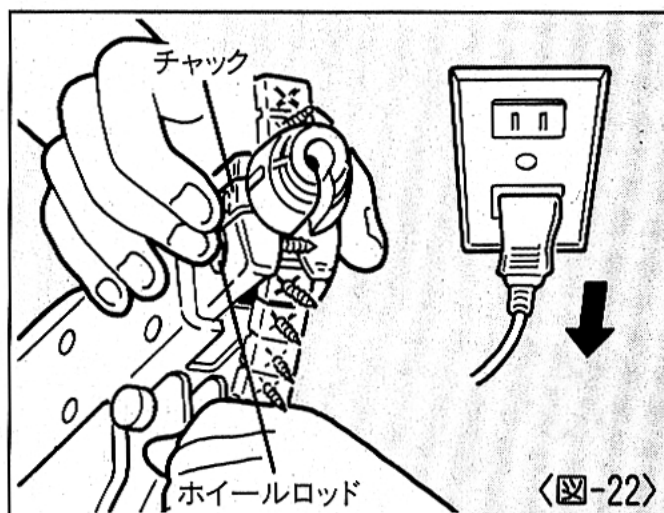
## 7 トラブルの解消方法

### 1 ねじ詰まりの解消方法

**⚠ 警 告**

**●ねじ詰まりの解消の際は、必ずスイッチを切った状態で、電源からプラグを抜く。**
**誤って作動させた場合、思いがけない事故につながります。**

ねじを先端部で詰まらせてしまった場合は、次の手順で解消してください。

1. スイッチを切って、電源プラグを外します。
2. チャックに咬ませてしまった場合は、指でチャックを両側からつまんで開かせながら、ホイールロッドを押します。〈図-22〉
3. そのまま、れんねじをマガジン側へ引き出してください。
4. どうしてもねじ詰まりがとれない場合は、無理をせずに、お近くのマックス製品取り扱い店か、マックスサービス㈱へお申し付けください。

〈図-22〉

### 2 ねじ頭が石膏ボードの表面より沈まない。

**⚠ 警 告**

**●各部の点検の際は、必ずスイッチを切った状態で行う。**
**誤って作動させた場合、思いがけない事故につながります。**

1. ねじ長さと、ノーズカバーが適合しているか確認します。(P.15の適合表を参照)
2. ねじの締め込み深さ調整(アジャスタ)は適切な位置になっているか確認します。ねじ長さとアジャストナットの目印溝が、窓穴のふちにある目盛りに合っているかを見てください。(P.15を参照)
3. ビットを確認します。ビットに彫刻してある記号が「B317H2」であるか確認します。合っていてもビットの先端が摩耗していたり、破損していることもあり、よく確認してください。
4. 原因が分からずに、ねじ頭が浮き沈みする場合は無理をせずに、お近くのマックス製品取り扱い店か、マックスサービス㈱へお申し付けください。

## 8 性能を維持するために

**⚠ 警 告**

●本機を改造しない。
本機を改造すると本来の性能が発揮できないばかりでなく、安全性が損なわれますので、絶対に行なわないでください。

❶本機の性能を維持する為に清掃、調整等を定期的に必ず行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にお申しつけください。

❷石膏の粉などが本機に付着したまま作業を続けると、ノーズの戻り不良、ねじ送り不良等機械の性能を損なう原因となります。作業前後にエアダスタなどで石膏の粉、ゴミなどを除去してください。
※エアダスタは、お近くのマックス製品取り扱い店でお買い求めください。

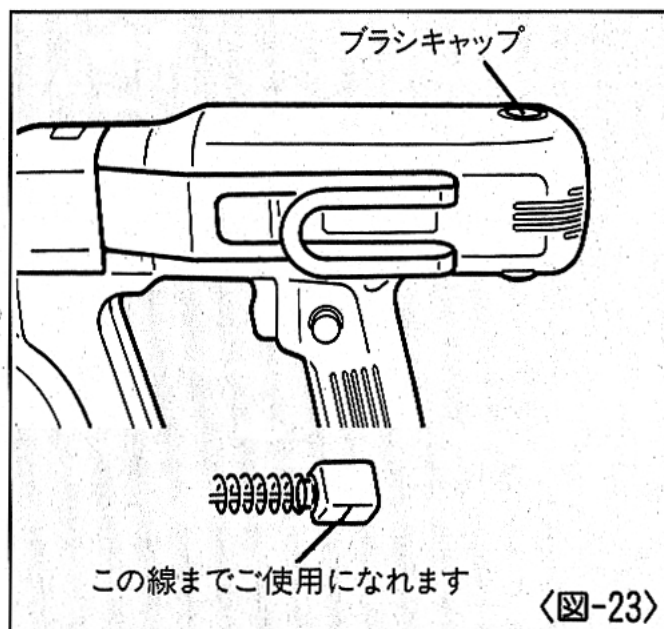
❸ノーズの動きが渋くなった時は、ドライシリコンスプレーなどベタつきの無い潤滑・滑走剤をスライド面に吹き付けてください。

**⚠ 警 告**

●グリス、オイル（スプレー式も含む）などベタつくものは絶対に塗布しない。
石膏の粉が固着し、オーバーホール、清浄が必要になることがあります。

❹カーボンブラシについて
カーボンブラシは消耗品です。カーボンブラシは全長1/3（線の入った位置）程度に摩耗しましたら新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用しますとモータ焼損の原因になることがあります。
〈図-23〉
カーボンブラシはブラシキャップを⊖ドライバーで取り外して交換します。カーボンブラシは２個1セットです。交換されるときは指定のカーボンブラシを使用し、２個とも交換してください。

〈図-23〉

## 9 保証、アフターサービス、補修用性能部品について

【保証について】

●本機には保証書（梱包箱に添付）がついています。

●所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●本機の保証期間はお買い上げ日より１年間です。

【アフターサービスについて】

●本機の調子が悪いときは、使用を中止して、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にご相談ください。

●保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。

【補修用性能部品の最低保有期間】

●本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後６年です。

●補修用性能部品とは、本機の性能を維持するために必要な部品です。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

マックス株式会社

| 本社・営業本部 | 〒103-8502 | 中央区日本橋箱崎町6－6 | TEL(03)3669-8121㈹ |
|---|---|---|---|
| 東京支店 | 〒103-8502 | 中央区日本橋箱崎町6－6 | TEL(03)3669-8118㈹ |
| 札幌支店 | 〒060-0041 | 札幌市中央区大通東6－12－8 | TEL(011)261-7141㈹ |
| 仙台支店 | 〒984-0002 | 仙台市若林区卸町東2－1－29 | TEL(022)236-4121㈹ |
| 名古屋支店 | 〒461-0025 | 名古屋市東区徳川1－11－23 | TEL(052)935-8531㈹ |
| 大阪支店 | 〒553-0004 | 大阪市福島区玉川1－3－18 | TEL(06)6444-2031㈹ |
| 広島支店 | 〒733-0035 | 広島市西区南観音7－11－24 | TEL(082)291-6331㈹ |
| 福岡支店 | 〒812-0006 | 福岡市博多区上牟田1－5－1 | TEL(092)411-5416㈹ |
| 盛岡営業所 | 〒020-0824 | 盛岡市東安庭2－10－3 | TEL(019)621-3541㈹ |
| 宇都宮営業所 | 〒321-0933 | 宇都宮市簗瀬町2313 | TEL(028)636-3012㈹ |
| 柏営業所 | 〒277-0871 | 柏市若柴297－12 | TEL(0471)32-1500㈹ |
| 多摩営業所 | 〒190-0022 | 立川市錦町5－17－19 | TEL(042)528-3051㈹ |
| 浜松営業所 | 〒433-8117 | 浜松市高丘東2－22－15 | TEL(053)439-3300㈹ |
| 岐阜営業所 | 〒501-6016 | 羽島郡岐南町徳田4－274 | TEL(058)276-6551㈹ |
| 泉南営業所 | 〒596-0825 | 岸和田市土生町2－30－39 | TEL(0724)36-2211㈹ |
| 神戸営業所 | 〒658-0081 | 神戸市東灘区田中町3－3－3 | TEL(078)412-6220㈹ |
| 南九州営業所 | 〒891-0115 | 鹿児島市東開町3－24 | TEL(099)269-5347㈹ |
| 新潟マックス㈱ | 〒955-0081 | 三条市東裏館2－14－28 | TEL(0256)34-2112㈹ |
| 水戸マックス㈱ | 〒310-0043 | 水戸市松ヶ丘2－3－27 | TEL(029)255-3761㈹ |
| 群馬マックス㈱ | 〒379-2215 | 佐波郡赤堀町大字今井543－2 | TEL(0270)62-1123㈹ |
| 埼玉マックス㈱ | 〒331-0044 | 大宮市日進町3－421 | TEL(048)651-5341㈹ |
| 千葉マックス㈱ | 〒284-0001 | 四街道市大日1870－1 | TEL(043)422-7400㈹ |
| 横浜マックス㈱ | 〒241-0822 | 横浜市旭区さちが丘7－6 | TEL(045)364-5661㈹ |
| 長野マックス㈱ | 〒399-0033 | 松本市笹賀8155 | TEL(0263)26-4377㈹ |
| 長野営業所 | 〒381-2247 | 長野市青木島1－35－1 | TEL(0262)85-6740㈹ |
| 静岡マックス㈱ | 〒422-8036 | 静岡市敷地1－3－26 | TEL(054)237-6116㈹ |
| 金沢マックス㈱ | 〒921-8061 | 金沢市森戸2－15 | TEL(076)240-1871㈹ |
| 富山営業所 | 〒930-0827 | 富山市上飯野字樋向割10－8 | TEL(0764)52-0182㈹ |
| 福井営業所 | 〒918-8237 | 福井市和田東2－1711 | TEL(0776)27-3378㈹ |
| 京滋マックス㈱ | 〒612-8414 | 京都市伏見区竹田段ノ川原町9 | TEL(075)645-5061㈹ |
| 兵庫マックス㈱ | 〒673-0404 | 三木市大村109－1 | TEL(0794)83-2121㈹ |
| 岡山マックス㈱ | 〒700-0971 | 岡山市野田3－23－28 | TEL(086)246-9516㈹ |
| 四国マックス㈱ | 〒761-8056 | 高松市上天神町761－3 | TEL(087)866-5599㈹ |
| 徳島営業所 | 〒770-0866 | 徳島市末広1－4－25 | TEL(0886)23-0286㈹ |
| 松山営業所 | 〒790-0951 | 松山市天山町28－1 | TEL(089)913-0608㈹ |
| マックスサービス㈱本社 | 〒330-0038 | 埼玉県大宮市宮原町2－99－5 | TEL(048)667-6448㈹ |
| マックスサービス㈱大阪 | 〒553-0004 | 大阪市福島区玉川1－3－18 | TEL(06)6446-0815㈹ |
| マックスサービス㈱名古屋 | 〒461-0025 | 名古屋市東区徳川1－11－23 | TEL(052)935-8210㈹ |
| マックスサービス㈱福岡 | 〒812-0006 | 福岡市博多区上牟田1－5－1 | TEL(092)451-6430㈹ |
| マックスサービス㈱広島 | 〒733-0035 | 広島市西区南観音7－11－24 | TEL(082)291-5670㈹ |
| マックスサービス㈱仙台 | 〒984-0002 | 仙台市若林区卸町東2－1－29 | TEL(022)237-0778㈹ |
| マックスサービス㈱札幌 | 〒060-0041 | 札幌市中央区大通東6－12－8 | TEL(011)231-6487㈹ |

**●マックスお客様ご相談ダイヤル（無料） 0120-22-8358**
**月～金曜日 午前9時～午後6時**


●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。


6984570